



平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年5月12日

上場会社名 株式会社イメージワン 上場取引所 東
 コード番号 2667 URL <http://www.imageone.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 康廣
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 鶴飼 良一 (TEL) 03-6233-3410
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の業績(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	720	△17.8	10	△35.9	1	△86.8	△1	—
26年9月期第2四半期	877	21.5	16	△42.3	9	△53.8	6	△64.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年9月期第2四半期	△0.57		—					
26年9月期第2四半期	1.82		—					

(注) 平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。平成26年9月期第2四半期の1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	1,124	—	427	—	38.0	—
26年9月期	929	—	429	—	46.2	—

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 427百万円 26年9月期 429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	1.3	50	247.3	35	513.5	30	103.5	8.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年9月期2Q	3,521,100株	26年9月期	3,521,100株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年9月期2Q	74,500株	26年9月期	74,500株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年9月期2Q	3,446,600株	26年9月期2Q	3,446,600株
----------	------------	----------	------------

(注) 平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成26年9月期2Qの期中平均株式数（四半期累計）につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を続けております。設備投資は、企業収益が改善するなかで、緩やかな増加基調にあり、公共投資は、高水準で横ばい圏内の動きとなっております。個人消費は、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、全体としては底堅く推移しており、住宅投資は、駆け込み需要の反動減が続いてきましたが、下げ止まりつつあります。先行きにつきましても、海外動向等のリスク要因があるものの、景気は緩やかな回復基調を続けていくとみられております。

このような経営環境において、当社は平成27年9月期の事業方針を医療画像事業の事業基盤強化に置き、ConnectioRIS^{※1}、ConnectioReport^{※2}、ConnectioMed^{※3}など主要商品の強化を進めながら、PACS^{※4}と連携提案する営業展開をおこない、また、今期新設した九州営業所による九州地区での事業展開拡大を目指してまいりました。

また、衛星画像事業においては、大幅に縮減した画像販売事業を補うべく、UAV^{※5}、Pix4Dmapper^{※6}の販売に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間における経営成績は、売上高720百万円(前年同期比17.8%減)、営業利益10百万円(同35.9%減)、経常利益1百万円(同86.8%減)、四半期純損失は1百万円(前年同期は6百万円の利益)となりました。

(※1) ConnectioRIS：放射線部門情報システム、(※2) ConnectioReport：放射線部門レポートシステム

(※3) ConnectioMed：診療情報統合システム、(※4) PACS：医療画像保管・配信・表示システム

(※5) UAV：小型無人飛行機、(※6) Pix4Dmapper：自動オルソモザイク&3D処理ソフトウェア

セグメント別の概況は以下のとおりです。

医療画像事業

当第2四半期累計期間の医療画像事業セグメントは、新設の九州地区においては概ね順調な推移ではあったものの、全体としては、大型システム更新案件の競争激化や受注見込み案件の契約時期遅れ等により、売上高657百万円(前年同期比11.4%減)、営業利益105百万円(同8.1%減)となりました。

衛星画像事業

当第2四半期累計期間の衛星画像事業セグメントは売上高62百万円(前年同期比53.5%減)、営業損失1百万円(前年同期は4百万円の損失)となりました。

前年同期は、安全保障分野において合計約80百万円の衛星画像売上の大型案件があったため、大幅な売上減となっておりますが、UAVやPix4Dmapperの収益寄与により営業損失は改善しております。引き続き、展示会等で引合いの多い見込み顧客への営業を強化してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、913百万円(前事業年度末比24.7%増)となりました。これは、売掛金が151百万円増加、現金及び預金が26百万円増加したこと等によります。

固定資産は、210百万円(同7.1%増)となりました。これは、ソフトウェア仮勘定が35百万円増加、ソフトウェアが16百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、1,124百万円(同21.0%増)となりました。

(負債)

流動負債は、419百万円(前事業年度末比32.7%増)となりました。これは、買掛金が75百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が40百万円増加したこと等によります。

固定負債は、277百万円(同50.8%増)となりました。これは、長期借入金が97百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、696百万円(同39.3%増)となりました。

(純資産)

純資産合計は、427百万円(前事業年度末比0.4%減)となりました。これは、利益剰余金が1百万円減少したこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期(通期)の業績予想につきましては、平成26年11月10日付「平成26年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	290,198	317,166
売掛金	379,137	530,538
商品	24,221	25,249
仕掛品	9,194	18,813
貯蔵品	780	317
前渡金	12,148	-
その他	16,727	21,346
貸倒引当金	△128	△180
流動資産合計	732,280	913,251
固定資産		
有形固定資産	40,656	42,555
無形固定資産		
ソフトウェア	50,171	33,720
その他	49,561	80,550
無形固定資産合計	99,732	114,271
投資その他の資産		
投資有価証券	1,762	1,762
その他	54,687	52,215
投資その他の資産合計	56,449	53,977
固定資産合計	196,838	210,804
資産合計	929,118	1,124,055
負債の部		
流動負債		
買掛金	178,007	253,155
1年内償還予定の社債	14,200	14,200
1年内返済予定の長期借入金	38,352	78,852
未払法人税等	8,045	4,957
リース債務	1,190	994
製品保証引当金	15,966	21,192
その他	60,362	46,142
流動負債合計	316,125	419,493
固定負債		
社債	50,300	43,200
長期借入金	132,346	229,954
リース債務	-	2,569
退職給付引当金	1,218	1,494
固定負債合計	183,864	277,218
負債合計	499,989	696,711

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	949,601	949,601
資本剰余金	92,599	92,599
利益剰余金	△500,953	△502,907
自己株式	△111,949	△111,949
株主資本合計	429,297	427,344
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△168	-
評価・換算差額等合計	△168	-
純資産合計	429,129	427,344
負債純資産合計	929,118	1,124,055

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	877,127	720,669
売上原価	632,450	470,393
売上総利益	244,676	250,275
販売費及び一般管理費	228,523	239,916
営業利益	16,153	10,358
営業外収益		
受取利息	9	16
受取配当金	520	150
為替差益	30	-
その他	166	27
営業外収益合計	726	193
営業外費用		
支払利息	2,114	1,877
為替差損	-	735
支払手数料	5,289	6,433
その他	247	290
営業外費用合計	7,651	9,336
経常利益	9,228	1,216
税引前四半期純利益	9,228	1,216
法人税、住民税及び事業税	2,950	3,169
法人税等合計	2,950	3,169
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,277	△1,953

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額 (注)2
	医療画像 事業	衛星画像 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	742,458	134,668	877,127	—	877,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	742,458	134,668	877,127	—	877,127
セグメント利益又は損失 (△)	114,522	△4,135	110,386	△94,233	16,153

(注)1 調整額に記載されているセグメント利益には各報告セグメントに配分していない全社費用△94,233千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額 (注)2
	医療画像 事業	衛星画像 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	657,982	62,687	720,669	—	720,669
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	657,982	62,687	720,669	—	720,669
セグメント利益又は損失 (△)	105,261	△1,296	103,965	△93,606	10,358

(注)1 調整額に記載されているセグメント利益には各報告セグメントに配分していない全社費用△93,606千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。